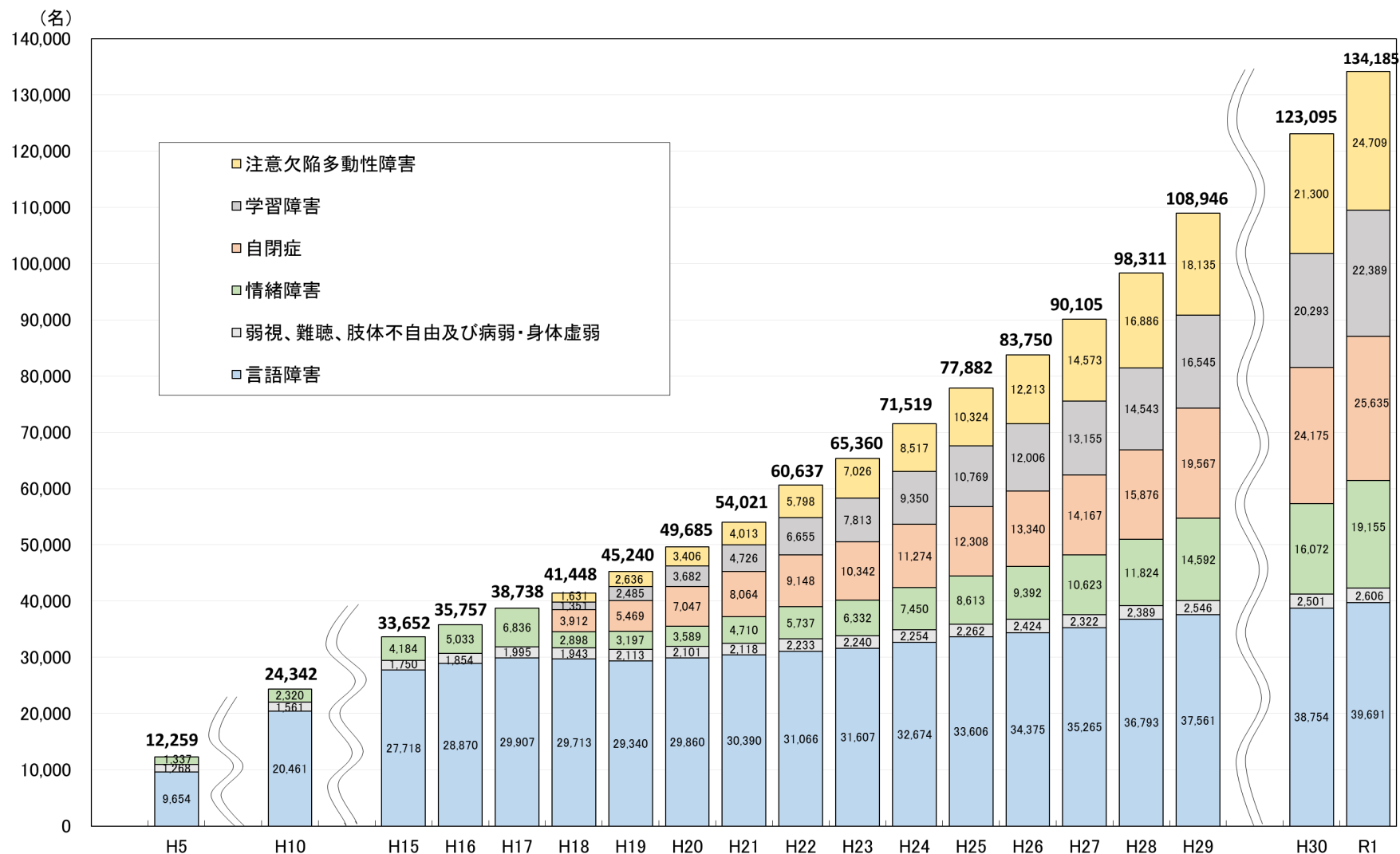


通級による指導を受けている児童生徒数の推移（各年度5月1日現在）



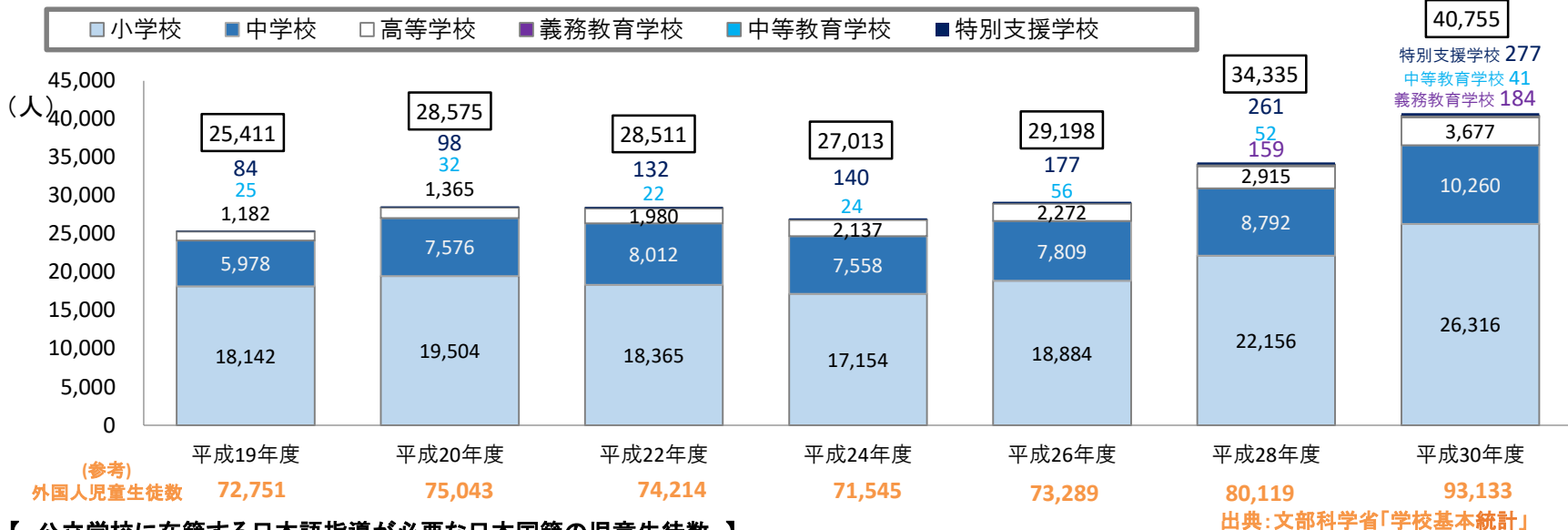
※平成30年度から、国立・私立学校を含めて調査。

※高等学校における通級による指導は平成30年度開始であることから、高等学校については平成30年度から計上。

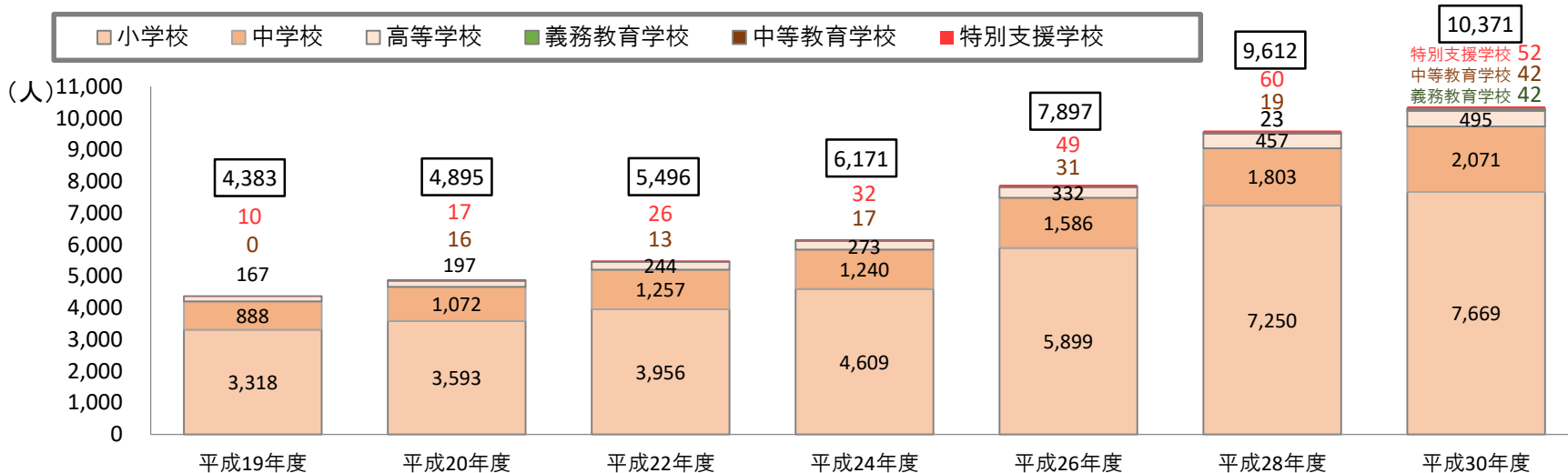
日本語指導が必要な児童生徒の在籍状況

- ① 公立学校に在籍する外国人児童生徒の約4割が日本語指導を必要としており、増加傾向。
- ② 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒も近年急増している。

【 公立学校に在籍する日本語指導が必要な外国人児童生徒数 】

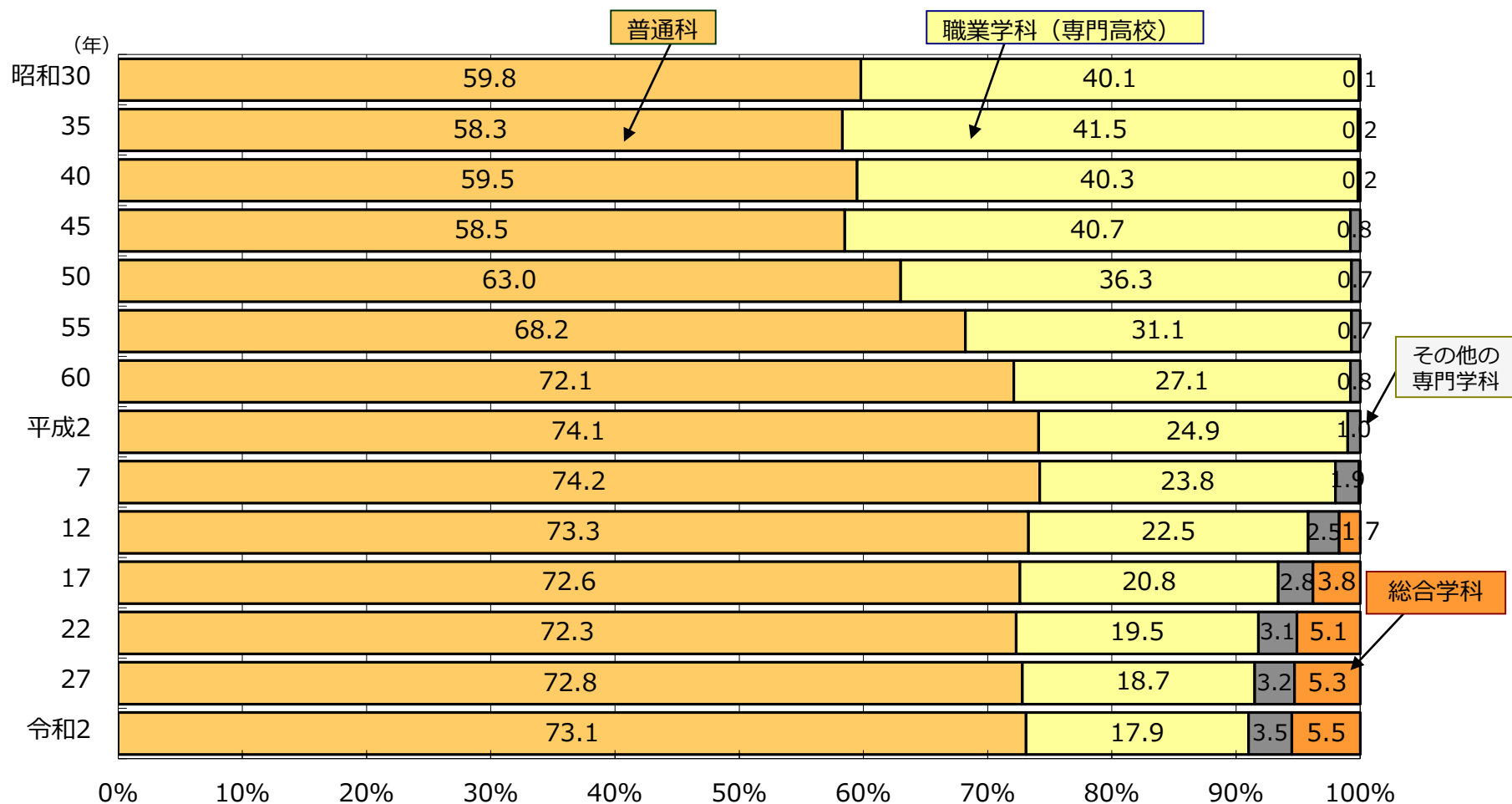


【 公立学校に在籍する日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒数 】



高等学校の生徒は普通科が7割

職業学科の比率は年々減少。普通科は最近30年間、ほぼ一定（約7割）で推移。



※総合学科は平成6年度より制度化。「その他の専門学科」には、理数、体育、音楽、美術、外国語、国際関係等の学科がある。

認識しておくべき子供・学校の状況等

Demand Side

子供

多様な背景や認知特性等を含めた子供たちの多様化（特別支援、不登校、特異な才能のある子供、日本語指導、貧困等）

学校生活の満足度の低下

「楽しいと思える授業が沢山ある」

74.8%
中1

69.2%
中3

66.3%
高1

56.4%
高2

自分で社会や国を変えられると思う

18.3%（18歳）

（中国65.6%、印83.7%）

経済界

<求める資質・能力>

数理的推論・データ分析力、論理的文章表現力、外国語コミュニケーション力等、論理的思考力と規範的判断力、課題発見・解決能力、未来社会の構想・設計力、高度専門職に必要な知識・能力

理数の学力は世界トップレベル

TIMMS2019（小4）

理科 4位/58か国

算数 5位/58か国

TIMMS2019（中2）

理科 3位/39か国

数学 4位/39か国

PISA2018（高1）

科学的リテラシー2位/37か国

数学的リテラシー1位/37か国

理科や算数・数学はあまり楽しくない

小4 日本（国際平均）

理科楽しい 92%（86%）

算数・数学楽しい 77%（84%）

中2

70%（81%）

56%（70%）

理数離れ加速

・普通科7割

→うち文系7割

→うち物理履修は2割

先細る理系人材

【学部】

人社系 5割

理工農系 2割

中→高で理系志向の割合は増えず、文系志向のみが増

理系を意識 中3 31%（男子41%、女子19%）

文系を意識 31%（男子20%、女子44%）

→高3 31%（男子40%、女子20%）

51%（男子42%、女子62%）

忙しい、好きなことをする時間がもっとほしい

忙しい 51.2%

好きなことをする時間がもっとほしい 80.5%

64.8%

86.3%

70.4%

84.9%

Supply Side

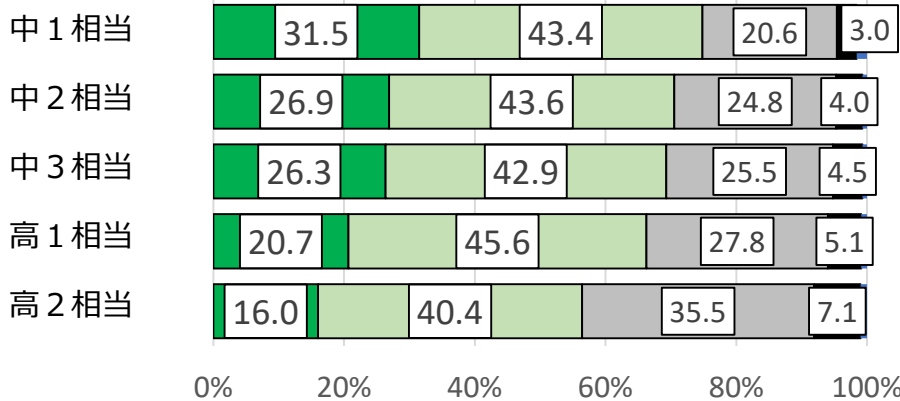
	就学前	小学校	中学校	入試	高等学校	入試	大学	社会（企業等）
教育内容（ソフト時間）		新学習指導要領実施（資質・能力ベース、教科等横断的な学び、社会に開かれた教育課程の実現） 具体 → 抽象化・高度化 授業時数の設定（R4～標準授業時数の一定の弾力化を認める特例実施） 個別最適な学びに向けたICT・データ活用が課題			普通科7割、文理コース分け 総合的な探究の時間 理数探究（R4～）			
教職員（ヒト）		教員の多忙化、長時間勤務による疲弊 学級担任制（全教科指導） 持ちコマ数の多さ 文系出身の教員中心 理科指導への苦手意識強め	教科担任制 同質性、均質性の高い教職員集団		教科担任制			
学校（ハード）		教員採用倍率の低下、教員不足 GIGAスクール構想（1人1台端末整備）実現 →定期的な端末更新の必要 安定したネットワーク環境の必要、GIGAスクール構想を踏まえた統合型校務支援システムの整備の在り方 老朽化に伴う校舎の建て替え			保護者負担（BYOD）含めた 端末整備の推進			

学校生活の満足度が徐々に低下していく子供たち

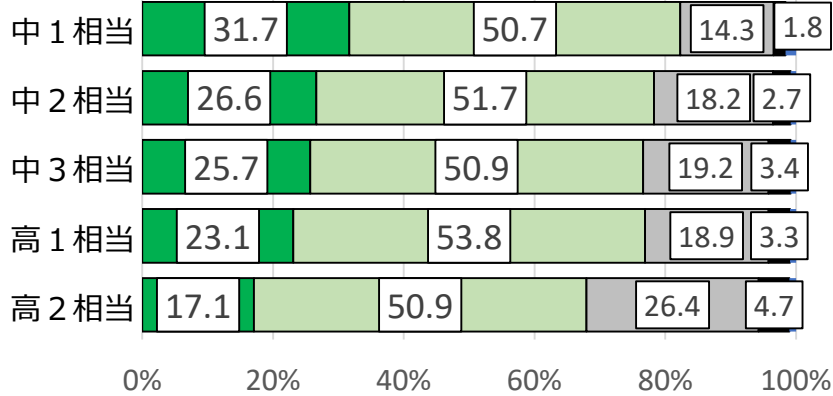
学校での学び・授業の満足度・理解度については、学年が上がるとともに低下傾向。

■ とてもそう思う ■ まあそう思う ■ あまりそう思わない ■ まったくそう思わない ■ 無回答

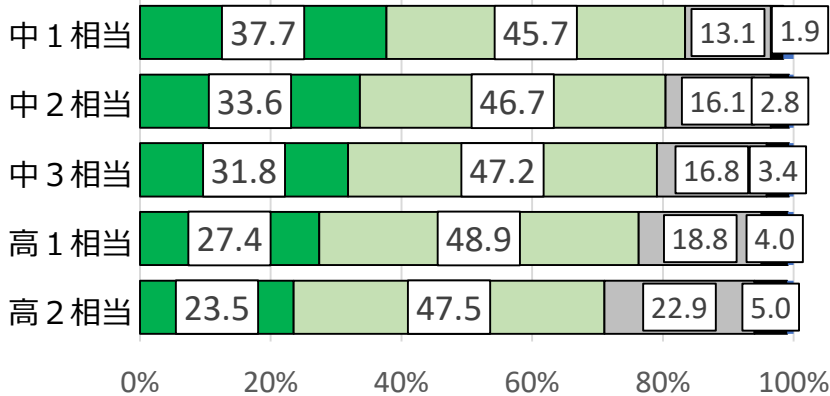
楽しいと思える授業がたくさんある



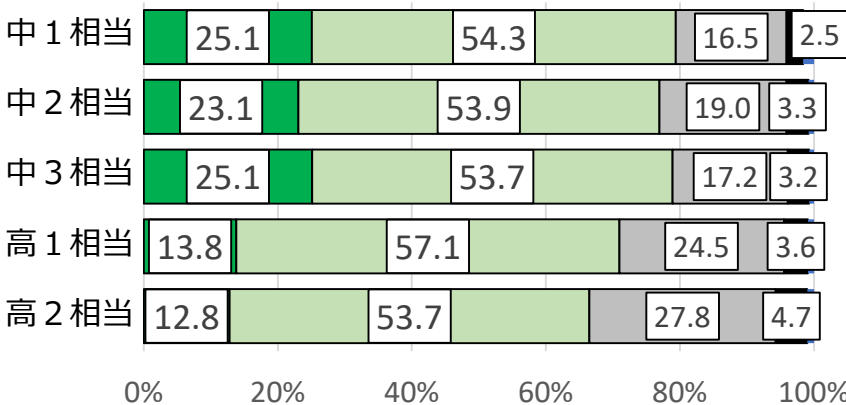
ためになると思える授業がたくさんある



学校の勉強は将来役に立つと思う

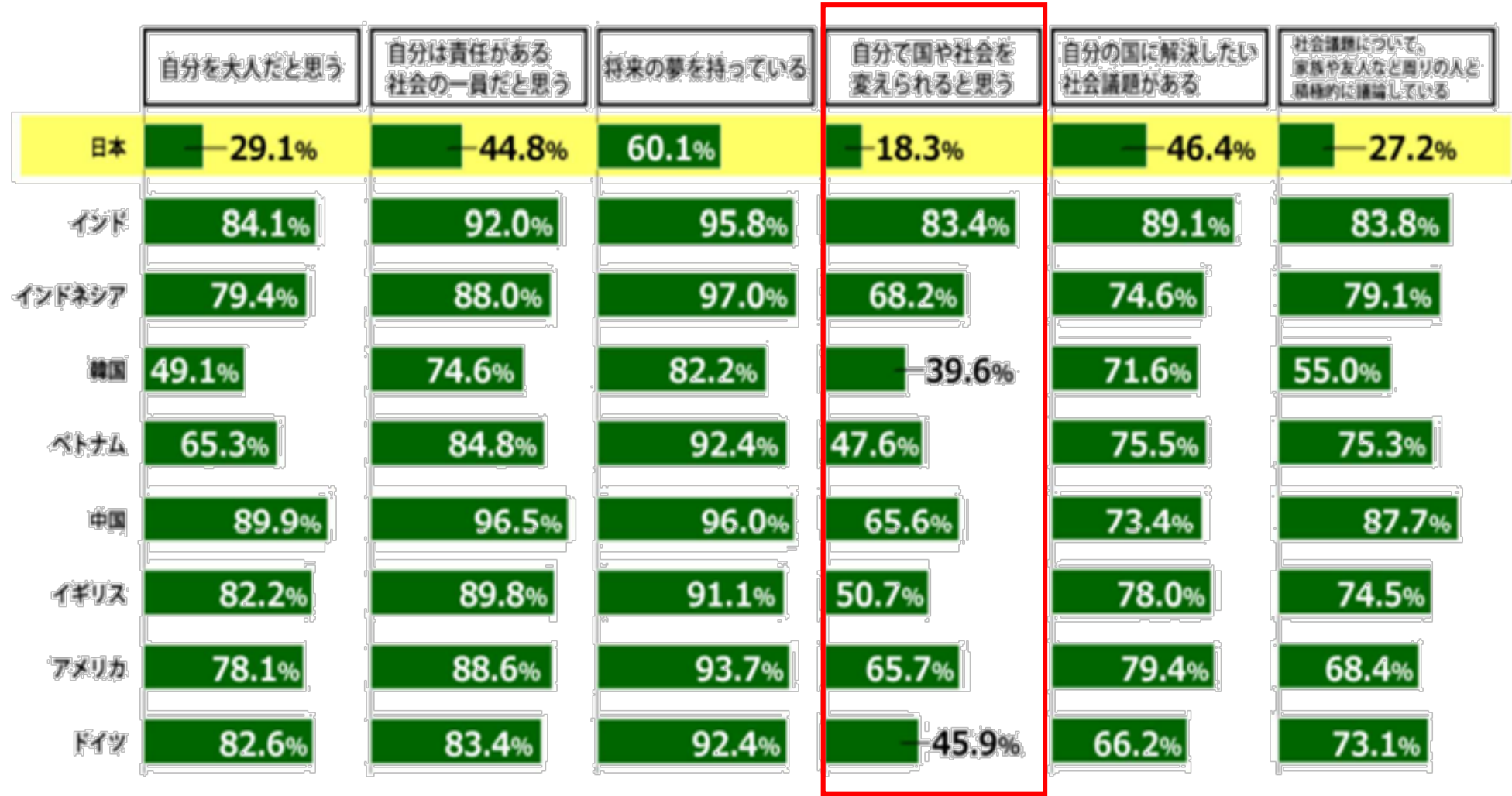


授業の内容をよく理解できている



※「無回答」部分の数字表記はごく少数であるため表示は割愛

自分では国や社会を変えられないと思っている日本の18歳

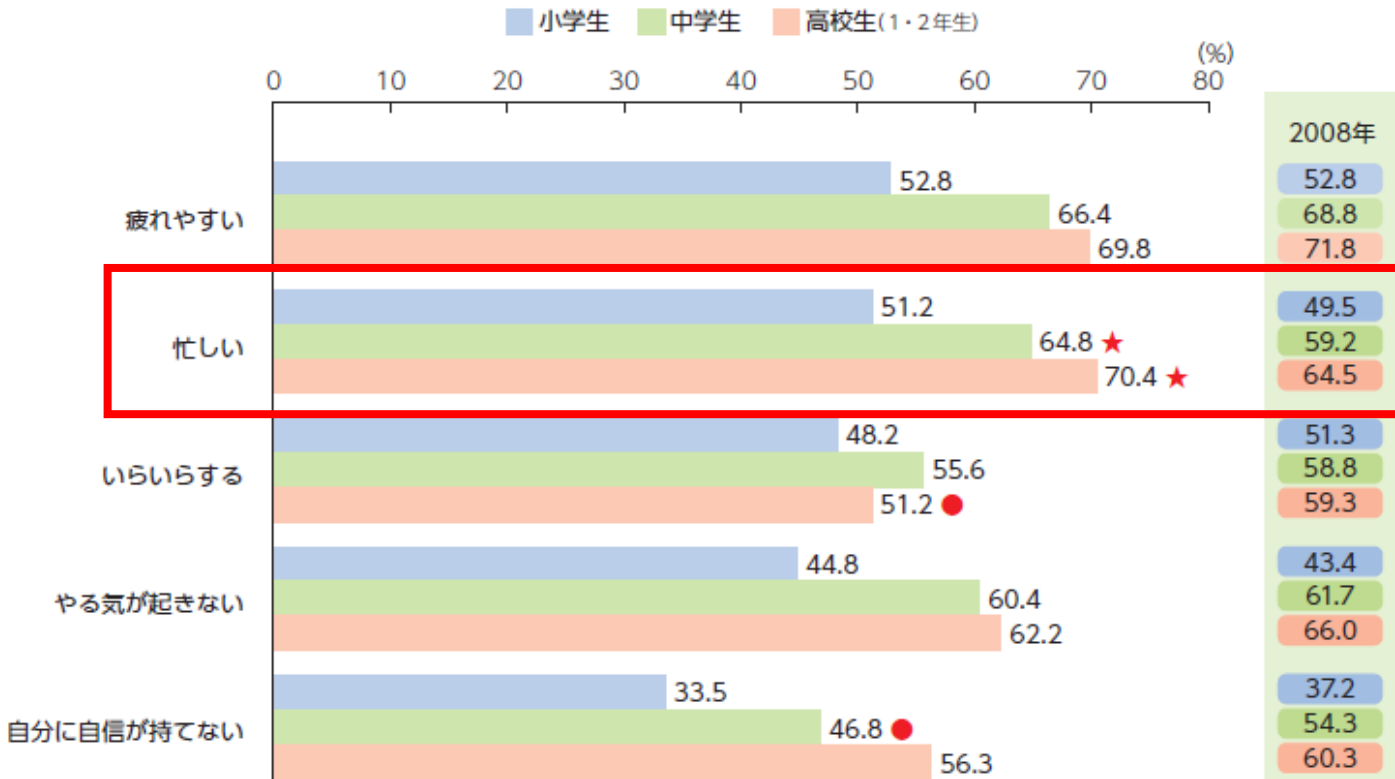


(出典) 日本財団「18歳意識調査『第20回-社会や国に対する意識調査-』要約版」(2019年11月30日)をもとに作成

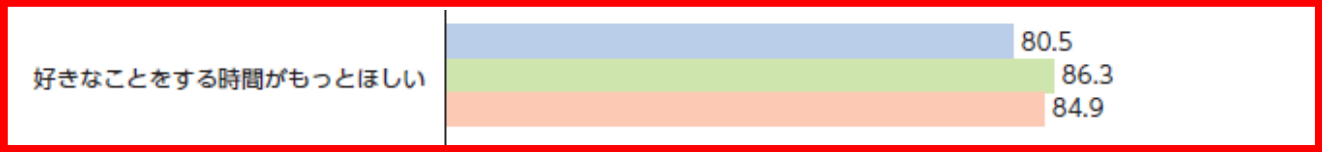
「忙しい」「好きなことをする時間がもっとほしい」と感じている子供たち



あなたは次のように感じることはありますか。



あなた自身について、次のことはどれくらいあてはまりますか。



※第1回調査(2008年)と今回調査(2013年)で5ポイント以上増加したものには★を、5ポイント以上減少したものには●